



## 2023年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月14日

上場会社名 クックビズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6558 URL <https://corp.cookbiz.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪ノ 賢次  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部 (氏名) 餌取 達彦 TEL 06-7777-2133  
 エグゼクティブマネージャー  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年11月期第1四半期の連結業績（2022年12月1日～2023年2月28日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第1四半期	571	—	42	—	44	—	26	—
2022年11月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年11月期第1四半期 26百万円 (—%) 2022年11月期第1四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第1四半期	9.78	9.70
2022年11月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2022年11月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2023年11月期第1四半期の対前年同四半期増減率並びに2022年11月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第1四半期	2,896	1,245	42.3
2022年11月期	2,807	1,204	42.3

(参考) 自己資本 2023年11月期第1四半期 1,224百万円 2022年11月期 1,187百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年11月期	—	—	—	—	—
2023年11月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、2023年11月期につきましては、現時点で当該基準日における配当予想額は未定であります。

### 3. 2023年11月期の連結業績予想（2022年12月1日～2023年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	—	230	—	220	—	180	—	65.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

第2四半期累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年11月期 1 Q	2,757,691株	2022年11月期	2,742,691株
② 期末自己株式数	2023年11月期 1 Q	7,021株	2022年11月期	7,021株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年11月期 1 Q	2,749,336株	2022年11月期 1 Q	2,626,023株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、2023年4月14日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、(1) 経営成績に関する説明について、対前年同四半期増減率を記載しておりません。

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、主に飲食業界に特化した人材サービス及び事業再生支援による水産物の冷凍加工業を展開しております。

当社グループのビジョン・ミッション・バリューを基礎として、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた次の10年を「食ビジネスの変革を支援する会社」と定義しています。激変する消費者の行動・価値観変容を理解し、飲食店の新たな収益機会や業態の創出と変革にかかる店舗・業務・人材・資金をトータルサポートすることで食産業の再成長に貢献いたします。

主要事業であるHR事業においては、コロナ前・コロナ禍を比較・分析し、中期的なターゲットとなるKPIを設定し、2026年～2027年には主要事業売上が40～50億円（CAGR25～30%）程度まで回復・再成長すると試算しています。これまで支援し続けた「人」を起点に、新たな食体験・食サービスとエコシステムを提供することで、事業規模の再拡大に向けた取り組みを加速させてまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は571,216千円となりました。主要事業であるHR事業においては、ウィズコロナも3年目となって社会活動も活発となり、インフレによる物価高騰の影響はあるものの、企業の採用ニーズは引き続き高い状態で推移していることが主な要因です。また、前連結会計年度末より連結範囲に含めた事業再生セグメントであるきゅういち株式会社の売上高も堅調に推移しております。

利益につきましては、前期から継続して取り組んでおります全社的な業務効率化・経費削減施策の継続実施及び販売費及び一般管理費のコントロール強化により、営業利益は42,439千円、経常利益は44,069千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は26,888千円となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当社グループは、単一セグメントであったためセグメント別の記載を省略しておりましたが、前連結会計年度末においてきゅういち株式会社を連結子会社化したことに伴い、開示情報としての重要性が増したため「事業再生」を報告セグメントとしてセグメント情報を記載することとしました。

#### ①HR事業

HR事業におきましては、クックビズ株式会社で飲食業界に特化した求人情報サイト「cookbiz」を運営しており、当該サイトを通じて、コンサルタントを介した有料職業紹介を行う「人材紹介サービス」、求人情報を求職者に提供する「求人広告サービス」、ダイレクトリクルーティングサービスを提供する「スカウトサービス」を中心に展開しております。また、研修サービスや採用総合支援サービス等の新規サービスを「その他」に分類しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「人材紹介サービス」、「求人広告サービス」、「スカウトサービス」はいずれも当初の見立て通りに推移しております。また、「その他」サービスである採用総合支援サービス「採用総合パッケージ」は各顧客において採用計画を上回るペースで進捗しております。

その結果、当セグメントにおける売上高は357,513千円、セグメント損失は9,051千円となりました。

※ cookbiz：当社は人材紹介サービス及び求人広告サービスにおいて「cookbiz」の同一ブランドにて展開しております。

#### ②事業再生

事業再生におきましては、きゅういち株式会社でホタテ・ホッケ・サバ等の冷凍加工業を行っております。主に道南エリアの漁業協同組合等から買付を行い、冷凍加工後、商社、大手水産加工会社等へ販売することを主要業務としております。同社においては漁業協同組合において複数の買参権を保有していることや、海水を工場まで引き込むことで鮮度を維持したまま冷凍し、高品質な水産加工品を製造しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ベビーホタテの販売が順調に推移したほか、南かやべ地域において、フクラゲ、イワシ、サバ等の鮮魚の水揚げ量が例年通り安定的に推移し、単価も堅調に推移した結果、継続して売上高を計上することができました。

その結果、当セグメントにおける売上高は213,702千円、セグメント利益は51,491千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ88,964千円増加し、2,896,161千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が287,069千円減少したものの、売掛金が180,500千円、前払費用が17,403千円、その他が25,231千円、ソフトウェア仮勘定が34,608千円、投資有価証券が99,980千円それぞれ増加したためであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ47,580千円増加し、1,650,274千円となりました。その主な要因は、未払消費税等が38,316千円減少したものの、短期借入金が90,000千円増加したためであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ41,383千円増加し、1,245,887千円となりました。その主な要因は、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ5,100千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が26,888千円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「2022年11月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2023年11月期の通期業績予想においてはCOVID-19の影響は軽微であるとの前提で作成しております。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,335,357	2,048,288
売掛金	80,502	261,003
未収入金	32,320	30,308
商品及び製品	102,900	117,988
原材料及び貯蔵品	6,532	5,959
前払費用	15,949	33,352
その他	1,133	26,364
貸倒引当金	△1,323	△878
流動資産合計	2,573,373	2,522,387
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	55,838	53,737
機械装置及び運搬具(純額)	17,733	24,617
工具、器具及び備品(純額)	4,738	4,702
土地	49,733	49,733
有形固定資産合計	128,043	132,790
無形固定資産		
ソフトウェア	17,642	16,710
ソフトウェア仮勘定	34,539	69,148
無形固定資産合計	52,182	85,858
投資その他の資産		
関係会社株式	5,000	5,000
投資有価証券	—	99,980
敷金	23,480	23,480
長期前払費用	42	21
繰延税金資産	24,977	26,535
その他	96	106
投資その他の資産合計	53,597	155,124
固定資産合計	233,823	373,773
資産合計	2,807,197	2,896,161

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	—	9,185
未払金	78,257	116,002
未払費用	57,018	70,631
短期借入金	580,000	670,000
1年内返済予定の長期借入金	20,040	20,040
未払法人税等	42,774	24,835
未払消費税等	58,471	20,155
契約負債	108,982	81,142
預り金	12,162	15,263
賞与引当金	35,954	17,696
返金負債	2,999	4,434
流動負債合計	996,662	1,049,387
固定負債		
長期借入金	576,620	571,610
資産除去債務	14,503	14,508
繰延税金負債	14,907	14,768
固定負債合計	606,031	600,886
負債合計	1,602,693	1,650,274
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	744,143	749,243
資本剰余金	737,143	742,243
利益剰余金	△293,734	△266,846
自己株式	△230	△230
株主資本合計	1,187,321	1,224,409
新株予約権	17,182	21,477
純資産合計	1,204,503	1,245,887
負債純資産合計	2,807,197	2,896,161

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
売上高	571,216
売上原価	160,394
売上総利益	410,821
販売費及び一般管理費	368,382
営業利益	42,439
営業外収益	
受取利息及び配当金	258
利子補給金	1,232
還付加算金	1,967
その他	1,841
営業外収益合計	5,300
営業外費用	
支払利息	3,671
営業外費用合計	3,671
経常利益	44,069
特別損失	
固定資産除却損	150
特別損失合計	150
税金等調整前四半期純利益	43,918
法人税、住民税及び事業税	18,728
法人税等調整額	△1,698
法人税等合計	17,030
四半期純利益	26,888
(内訳)	
親会社株主に帰属する四半期純利益	26,888
非支配株主に帰属する四半期純利益	—



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	26,888
その他の包括利益	
その他の包括利益合計	—
四半期包括利益	26,888
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	26,888
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権行使の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ5,100千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金が749,243千円、資本剰余金742,243千円となっております。

(セグメント情報等)

当第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	HR事業	事業再生	計		
売上高					
外部顧客への売上高	357,513	213,702	571,216	—	571,216
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	357,513	213,702	571,216	—	571,216
セグメント利益又は損失 (△)	△9,051	51,491	42,439	—	42,439

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。